

学術研究員雇用支援経費 公募要項

1. 目的

本支援は、学術研究員の雇用経費を補助することで、岩手大学工学部及び工学研究科（以下「学部等」という。）の研究をさらに推進することを目的とする。

2. 支援の対象

学部等の専任教員を中心とした研究グループとする。

3. 申請区分及び支援経費

申請区分：学術研究員の雇用形態に応じて下記の区分による申請とする。

支援経費：雇用経費の90%まで支援する。

(1) 学術研究員（博士・フルタイム）雇用支援経費

- ・ 博士の学位を取得後5年以内の者（見込みも含む）をフルタイム職員として雇用する。
- ・ 雇用期間は3年以内とする。ただし、被雇用者との契約は1年毎に更新する。
- ・ 雇用経費は400～500万円/年とする。

(2) 学術研究員（博士または博士後期課程学生・パートタイム）雇用支援経費

- ・ 博士の学位を取得後5年以内の者（見込みも含む）、または岩手大学工学研究科博士後期課程に在学中の学生をパートタイム職員（博士：週30時間以内・博士後期課程学生：TA・RA等を含め週20時間以内）として雇用する。
- ・ 雇用期間は、1年以内とする（再応募を妨げない）。
- ・ 雇用経費は、博士の場合280～300万円/年、博士後期課程学生の場合50～80万円/年とする。

4. 申請

申請・雇用時期：年2回の公募とし、5月申請・10月採用、11月申請・4月採用とする。

提出先・提出期限：別途通知する。

(1) 学術研究員（博士・フルタイム）雇用支援経費の申請

別紙様式1による。

- * フルタイム学術研究員の採用については、下記の「6. 学術研究員（博士・フルタイム）の採用」を参照。

(2) 学術研究員（博士または博士後期課程学生・パートタイム）雇用経費の申請

別紙様式1に加え、雇用予定者調書（様式2）を提出すること。

5. 審査

戦略的研究推進会議で審議し、学科長・専攻長会議で承認する。

審査の観点：以下の項目についての貢献度が高いもの。

- * 研究活動の発展
- * SS 評価の業績
- * 特徴ある研究の拠点化

6. 学術研究員（博士・フルタイム）の採用

学術研究員（博士・フルタイム）の採用については、選考委員会を設置し、公募を原則とする。また、選考の透明性を確保するため、選考委員会に戦略的研究推進会議の委員1名を含むものとする。

7. 成果報告および報告会

雇用期間終了時に成果報告書を戦略的研究推進会議に提出する。また、学術研究員または申請者は報告会を開催する。

8. 事業規模

予算は 1500 万円／年とする（フルタイム研究員3名、パートタイム研究員若干名の雇用を想定）。

9. その他

本支援制度については定期的に見直すものとする。